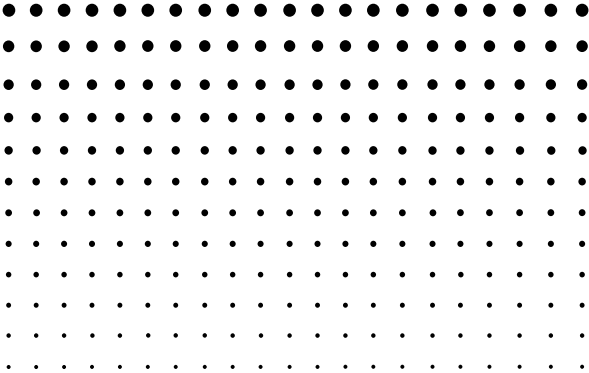




DR-240TM

取扱説明書

保証書付



ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、
正しくお使いください。
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

電卓の情報は、ウェブサイト (<http://casio.jp/dentaku/>) でもご覧いただけます。

JIS C 61000-3-2 適合品



本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。なお、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

警告

煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

電源コードについて

電源コードは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。



・電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する



・1つのコンセントにいくつかの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

電源コードについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。



- ・重いものを乗せたり、加熱しない
- ・加工したり、無理に曲げない
- ・ねじったり、引っ張ったりしない



- ・電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

電源コードについて



- ・濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の原因となります。

- ・電源コードは水のかからない状態で使用してください。また、電源コードの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。



- ・外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、電源コードはコンセントから抜いてください。電源コードに噛みついた場合、ショート（短絡）により、火災や感電の原因となります。

火中に投入しない



- ・本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水、液体、異物はさける



水、スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

落とさない、ぶつけない



本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

注意

電源コードについて

電源コードは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



・ ストープ等の熱器具に近づけない



- ・ プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずプラグを持って抜く)
- ・ プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- ・ 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- ・ 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- ・ プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で掃除する
- ・ 電源コード(特にプラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使用しない

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について



本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ 調理台のそばなど油煙があたるような場所
- ・ 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない



本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる



本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。

電源コードをコンセントから抜くと（AC電源が供給されなくなると）、本機に記憶されている数値や設定はすべて消去されてしまいます。

税率は工場出荷時の値に戻ります。税率は適切な値に設定してください。

目次

安全上のご注意	1
はじめに	6
ご使用上の注意	6
ロールペーパーをセットするには	8
インクリボンを交換するには	9
1 各部の名称	10
2 計算のしかた	11
2-1 加減算	11
2-2 乗除算	14
2-3 乗除算結果の合計と総合計	15
2-4 定数計算(同じ数を使った乗除算)	17
2-5 独立メモリーを使う計算	19
2-6 パーセント計算	20
2-7 実務計算	22
2-8 税金計算	25
2-9 原価・売価・利益計算	26
2-10 データプリント	27
2-11 ノンアドプリント	27
3 エラーと訂正	28
3-1 エラーチェック	28
3-2 訂正	29
4 仕様	31
保証・アフターサービスについて	32
アフターサービス窓口について	33
カシオ保証書	巻末
保証規定	巻末

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本機使用により生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

はじめに

本機は実務計算に便利な加算器方式のプリンター電卓です。

以下のような特長があります。

- 整数部 3 桁区切りシンボル付きの見やすい表示窓を採用しています。
- 正の数、負の数が見えやすいように正負別に印字の色を変更しています。
- 中間計・合計・総合計が求められる優れた合計計算機能を備えています。
- 割増、売価設定などが簡単に求められるパーセント計算ができます。
- アドモード計算(小数第 2 位指定計算)ができます。
- 税金計算、原価・売価・利益計算ができます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、各機能を十分ご理解の上、正しくお取扱いただきますようお願いいたします。

ご使用上の注意

■ ご使用上の注意

本機は精密な電子部品を使用しています。末長くご愛用いただくために、下記の注意をよくお読みの上、ご使用ください。

● お手入れは

本機の汚れは、シリコンクロスなど柔らかい布でお拭きください。特に汚れがひどいときは、中性洗剤液に浸した布を固くしぼってお拭きください。

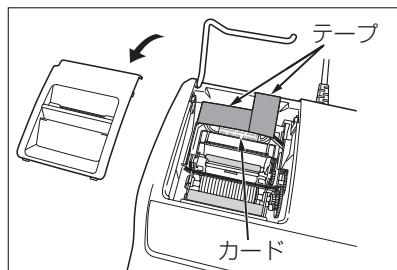
なお、シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤は、使用しないでください。ケースの変色または変質の原因になります。

● ロールペーパーの交換

ロールペーパーを交換される際は、最寄りの当社製品販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」で本機の仕様に合った製品をご購入ください。

■ ご使用の前に

インクリボンは、落下防止のため工場出荷時には図のようにテープで固定してあります。本機をご使用になる前に、プリンターカバーを外し、このテープとカードを取り除いてください。



■ 大切なデータは控えを取っておいてください

電源コードをコンセントから抜くと(AC電源が供給されなくなると)、税率が工場出荷時の値に戻り、本機に記憶されている数値や設定はすべて消去されます。

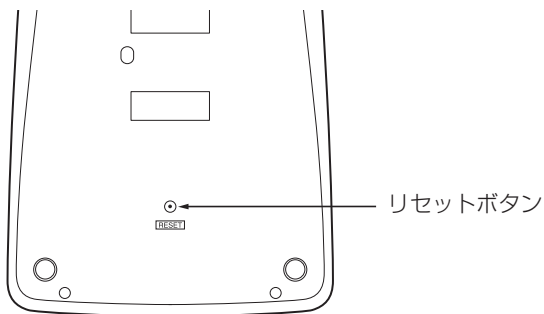
大切な数値や設定は別途ノートなどに書き写してください。税率は適切な値に設定してください。

■ 計算が正しくできなくなったとき(リセットボタン)

正常な計算ができなくなったときは、本機底面のリセットボタンを押してください。

リセットボタンを押すと、本機に記憶されている数値や設定はすべて消去されます。

大切な数値や設定は別途ノートなどに書き写してください。

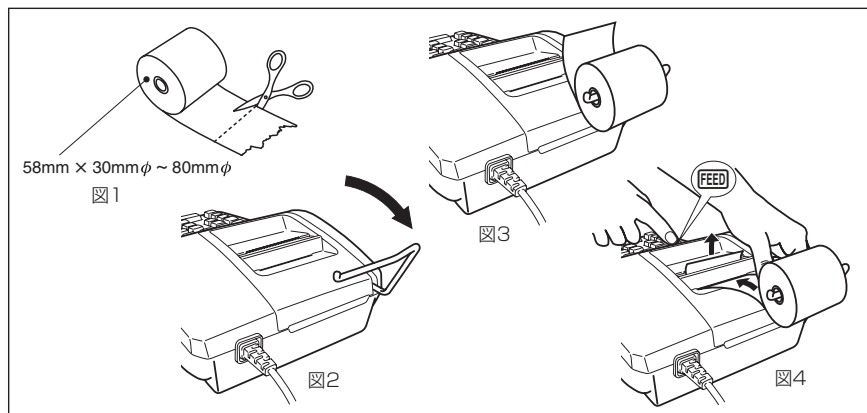


■ バッファレジスターとブラインドタッチオペレーション

すばやい操作にも計算機が対応できるように<バッファレジスター>を14キー分備えています。このバッファレジスターは、数値だけでなく、命令キーも記憶していますので、計算・印字中でも、次の数値や命令をキーインすることができます。また、置数キーの **[5]** の中央に凸部がありますので、**[5]** をガイドキーとして<ブラインドタッチオペレーション>をすることができます。

ロールペーパーをセットするには

1. 電源スイッチを ON にします。
2. ロールペーパーの端をカットして用紙の端を整えます (図 1)。
3. ロールアームを開きます (図 2)。
4. ロールペーパーをロールアームにとりつけます (図 3)。
5. ロールペーパーの先端をペーパー挿入口に差し込み、**FEED** キーを押します。ロールペーパーの先端がペーパーカッターから出てくるまで押し続けてください (図 4)。



ご注意:

ロールペーパーをセットするときや進めるときは、必ず**FEED** キーを押してください。手で無理に引っ張ると、故障の原因となります。

インクリボンを交換するには

1. ロールペーパーとプリンターカバーを外します。(図 1)
2. 左側のリボン①を外し、次に右側のリボン②を外します。(図 2)
3. リボンの黒色が上にくるようにして、まず右側のリボンをセットし①、リボンを右側のリボンガイド部分②に巻き付け、次に図のように③を通し、左側のリボン④を差し込んだら時計回りに止まるまで回します。(図 3)
4. プリンターカバーを元に戻します。(図 4)

図1

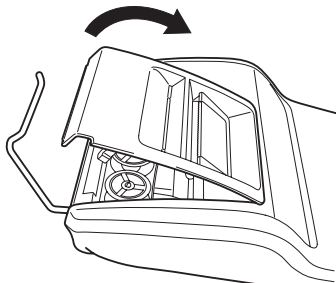


図2

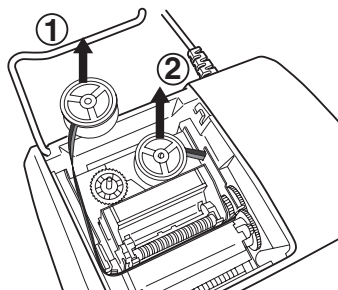


図3

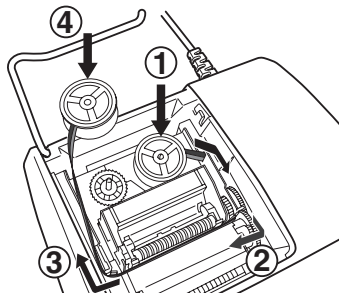
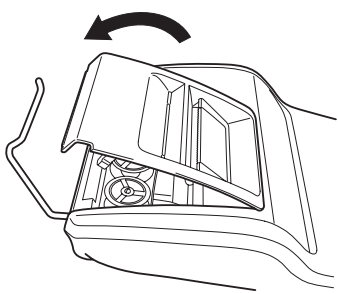
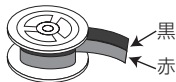


図4



RB-02



1 各部の名称

■コントロールスイッチ



機能セレクト

- **OFF** : 電源が OFF になります。
- **ON** : 電源が ON になります。印字を必要とせず、表示のみで計算したいとき、ここに設定します。ただし **ON** を押すことにより、表示数値を印字することができます。
- **PRINT** : 操作内容をすべて印字します。通常の計算で印字が必要なとき、ここに設定します。
- **ITEM+** : 操作内容と加減算の回数(アイテムカウント)を同時に印字したいとき、ここに設定します。
 - **※** または **ON** を押すと、合計または中間結果とともに **+** と **-** を押した加減回数が 3 桁印字されます。
 - **ON** を押すと、総合計とともに **※** を押した回数が 3 桁印字されます。
 - **MEM** または **MEM** を押すと、独立メモリーに記憶されている数値とともに **MEM** と **MEM** を押した回数が 3 桁印字されます。
- **ITEM+/-** : 操作内容と加減算の回数(アイテムカウント)を同時に印字したいとき、ここに設定します。
 - **※** または **ON** を押すと、合計または中間結果とともに **+** と **-** を押した加減回数が 3 桁印字されます。
ただし、回数は **+** を「+1」と数え、**-** を「-1」と数えた場合の総和となります。
 - **MEM** または **MEM** を押すと、独立メモリーに記憶されている数値とともに **MEM** と **MEM** を押した回数が 3 桁印字されます。
ただし、回数は **MEM** を「+1」と数え、**MEM** を「-1」と数えた場合の総和となります。



ラウンドセレクト

小数部(端数)の処理のしかたを指定します。

- **F** : 小数部を処理せず、そのまま答えを求めます(浮動小数点)。
- **CUT** : 「切り捨て」して、指定した小数位まで答えを求めます。
- **UP** : 「切り上げ」して、指定した小数位まで答えを求めます。
- **5/4** : 「四捨五入」して、指定した小数位まで答えを求めます。

※小数位は、小数位セレクトで指定します(下記参照)。



小数位セレクト

小数位を指定します。

- **6、4、3、2、1、0……**

答えの小数位を指定します。指定した数の下 1 桁(2であれば3桁)が「切り捨て」、「切り上げ」、または「四捨五入」されます。

● **ADD₂+**、**ADD₂X**……

アドモード計算(小数第2位指定計算)を指定します。ドル計算などに便利です。

a.「**ADD₂+**」に設定すると、加減算のとき **[□]** を押さなくても、置数の下2桁目に自動的に小数点が現れます。

b.「**ADD₂X**」に設定すると、加減算に加えて乗除算の乗除数(定数計算の場合は被乗除数)の下2桁目にも自動的に小数点が現れます。

ただし、**[□]** キーを押した場合は、その小数点の位置が優先されます。

※小数位セレクターを使うときは、ラウンドセレクターを「**F**」以外に設定してください。

[FEED] フィードキー(8ページ)

ロールペーパーを送ります。

■ 命令キー

[%#] サブトータル／ノンアドプリントキー
(11ページ／27ページ)

[*] トータルキー(11ページ)

[GX] グランドトータルキー(11ページ)

[▶] 桁下げキー(28ページ)

[Z] サインチェンジキー(12ページ)

SET **[%]** パーセントキー／セットキー(20ページ／25ページ)

[MU MD] マークアップ／マークダウンキー(22ページ)

[C] クリアキー(29ページ)

[CA] クリアオールキー

[TAX+] タックスプラスキー(25ページ)

[TAX-] タックスマイナスキー(25ページ)

[COST] 原価キー(26ページ)

[SELL] 売価キー(26ページ)

[MAR] 利益キー(26ページ)

[DATA] データキー(27ページ)

[M+] メモリープラスキー(19ページ)

[M-] メモリーマイナスキー(19ページ)

[M◊] メモリーリコールキー(19ページ)

[MX] メモリーリコールクリアキー
(19ページ)

2 計算のしかた

2-1 加減算

[CA] 数値入力 **[+]** **[=]** 数値入力 **[+]** **[=]** **[*]** 合計を算出

[CA] 数値入力 **[+]** **[=]** 数値入力 **[+]** **[=]** **[*]** 合計を算出

[GX] 総合計を算出

- 加減算をするときは、はじめに必ず **[CA]** キーを押してください。
- **[%#]** キーを加減算の途中で押すと、その時点での中間計がプリントされます。
- **[*]** キーを押すと答え(合計)をプリントし、答えを総合計メモリーに加えます。同時に答えを自動クリアするので、次の計算をする前に **[CA]** キーを押す必要はありません。
- **[GX]** を押すと総合計が求められます。同時に総合計メモリーは自動クリアされます。
- **[%#]**、**[*]**、**[GX]** の各キーを押して求められた計算結果を被乗数、被除数、定数として、続けて乗除算(**[X]**／**[÷]**)ができます。

例 1 小数を含む加減算

例題	操作	プリント	表示
機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：2			
$\begin{array}{r} 3.214 \\ -) 1.213 \\ +) 987.4 \\ \hline 989.401 \end{array}$	CA 3 \square 214 \square + 1 \square 213 \square - 987 \square 4 \square + *	<div>• • 0 • • CA</div> <div>3 • 21 +</div> <div>1 • 21 -</div> <div>987 • 40 +</div> <div>989 • 40 *</div>	0. 3.21 2.00 989.40 989.40

例 2 中間計・合計・総合計

ラウンドセクター：F		機能セクター：ITEM+	機能セクター：ITEM+/-
$\begin{array}{r} 365 \\ -214 \\ (151) \text{ (中間計)} \\ \hline 654 \\ 805 \text{ (合計)} \end{array}$	CA 365 \square + 214 \square - 0/4 654 \square + * 563 \square + 452 \square + 258 \square + * 1174 \square + 0/4	<div>• • 0 • • CA</div> <div>365 • +</div> <div>214 • -</div> <div>002</div> <div>151 • ◇</div> <div>654 • +</div> <div>003</div> <div>805 • *</div> <div>563 • +</div> <div>452 • +</div> <div>258 • +</div> <div>003</div> <div>369 • *</div> <div>002</div> <div>1,174 • G *</div>	<div>• • 0 • • CA</div> <div>365 • +</div> <div>214 • -</div> <div>000</div> <div>151 • ◇</div> <div>654 • +</div> <div>001</div> <div>805 • *</div> <div>563 • +</div> <div>452 • +</div> <div>258 • +</div> <div>003</div> <div>369 • *</div> <div>002</div> <div>1,174 • G *</div> <div>0.</div> <div>365.</div> <div>151.</div> <div>151.</div> <div>805.</div> <div>805.</div> <div>563.</div> <div>111.</div> <div>369.</div> <div>369.</div> <div>1'174.</div>

例 3 アドモード計算

- アドモード計算はドル計算をするときなどに便利です。
- 小数位セクターをADD₂₊に設定すると加減算のときに□を押さなくても、置数の下2桁目に自動的に小数点が現れます。
- 小数位セクターをADD_{2×}に設定すると加減算に加えて乗除算の乗除数(定数計算の場合は被乗除数)の下2桁目にも自動的に小数点が現れます。
- 数値入力中に□キーを押した場合は、キーを押したときに入力される小数点が優先されます。
- ラウンドセクターが「F」の位置にある場合、アドモード計算はできません。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：CUT、小数位セクター：ADD₂₊

123.45	CA	• • 0 • • CA	0.
-) 8.52			
41.00	12345 +	123 • 45 +	123.45
155.93	852 -	8 • 52 -	114.93
155.93 × 10 =	41 □ +	41 • 00 +	155.93
1559.30	10 ×	155 • 93 ×	155.93
		10 • =	
		1 559 • 30	1'559.30

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：ADD_{2×}

3 × 7.5 = 22.50(ADD _{2×} モード時)	CA	• • 0 • • CA	0.
	3 ×	3 • ×	3.
750 =	750 =	7 • 50 =	
		22 • 50	22.50

例 4 リピート加減算

同じ数値を続けて加算または減算したいときは、必要な回数だけ□または□を押してください。以下は、数量と金額を同時に計算している例です。

機能セクター：ITEM+, ラウンドセクター：F

数量	単価	金額	CA	• • 0 • • CA	0.
2	3,000円	6,000円			
1	4,800	4,800	3 000 +	3 • 000 • +	3'000.
			+	3 • 000 • +	6'000.
			+	4 • 800 • +	10'800.
数量合計：3	金額合計：10,800円	4800	* 003	1 • 0800 • *	10'800.

2-2 乗除算

数値入力 $\boxed{\times}$ ($\boxed{\div}$) 数値入力 $\boxed{=}$ 積(商)を算出

- $\boxed{\times}$ / $\boxed{\div}$ キーはいつでも入力を切り替えられます。最後に押した $\boxed{\times}$ / $\boxed{\div}$ のみが有効となります。
- 乗除算をする前に \boxed{CA} を押す必要はありません。
- $\boxed{=}$ の代わりに $\boxed{+}$ や $\boxed{-}$ を使って乗除算をするときは、はじめに \boxed{CA} を押してください。
- $\boxed{=}$ の代わりに $\boxed{-}$ を押すと、計算結果はマイナスとなります。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：2

$$12.3 \times 36 \times 2.54 \\ = 1124.712$$

$$12 \boxed{\div} 3 \boxed{\times} \\ 36 \boxed{\times} \\ 2 \boxed{\div} 54 \boxed{=}$$

$$\begin{array}{r} 12 \cdot 3 \times \\ 36 \cdot \times \\ 2 \cdot 54 = \\ 1,124 \cdot 71 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 12.3 \\ 442.8 \\ 1'124.71 \end{array}$$

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：CUT、小数位セクター：2

$$789456 \div 1200 \div (-2.5) \\ = -263.152$$

$$\boxed{CA} \\ 789456 \boxed{\div} \\ 1200 \boxed{\div} \\ 2 \boxed{\div} 5 \boxed{=}$$

$$\begin{array}{r} \cdot \cdot 0 \cdot \cdot CA \\ 789 \cdot 456 \cdot \div \\ 1 \cdot 200 \cdot \div \\ - \quad 2 \cdot 5 = \\ - \quad 263 \cdot 15 + \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0. \\ 789'456. \\ 657.88 \\ -263.15 \end{array}$$

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$$(123 + 456) \times 82 \\ = 47478$$

$$\boxed{CA} \\ 123 \boxed{+} \\ 456 \boxed{+} \\ 82 \boxed{\times} \boxed{=}$$

$$\begin{array}{r} \cdot \cdot 0 \cdot \cdot CA \\ 123 \cdot + \\ 456 \cdot + \\ 579 \cdot \times \\ 82 \cdot = \\ 47 \cdot 478 \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0. \\ 123. \\ 579. \\ 579. \\ 47'478. \end{array}$$

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：6

$$\frac{123 \times 456}{236} \\ = 237.66101694915 \dots$$

$$123 \boxed{\times} \\ 456 \boxed{\div} \\ 236 \boxed{=}$$

$$\begin{array}{r} 123 \cdot \times \\ 456 \cdot \div \\ 236 \cdot = \\ 237 \cdot 661017 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 123. \\ 56'088. \\ 237.661017 \end{array}$$

- 小数位セクターが「ADD₂」のとき乗除算をすると、計算結果は小数点第2位で切り捨て、切り上げ、または四捨五入されます(ラウンドセクターの設定によります)。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：CUT、小数位セクター：ADD₂+

(12.45 + 25.36 + 45.78) ÷ 4.5
= 18.575555555555.....

CA	• • 0 • • CA	0.
1245 +	12 • 45 +	12.45
2536 +	25 • 36 +	37.81
4578 +	45 • 78 +	83.59
÷	83 • 59 ÷	83.59
4 □ 5 =	4 • 5 =	
	18 • 57	18.57

2-3 乗除算結果の合計と総合計

CA	数値入力	✕ (÷)	数値入力	+	(-)	積(商)を算出
	数値入力	✕ (÷)	数値入力	+	(-)	積(商)を算出
				*		合計を算出
						
				Gx		総合計を算出

- *****を押すと答え(合計)をプリントし、答えを総合計メモリーに加えます。同時に答えを自動クリアするので、次の計算をする前に **CA** を押す必要はありません。
- **Gx**を押すと総合計が求められます。同時に総合計メモリーは自動クリアされます。

$$\begin{array}{r} 12 \times 45 = 540 \\ 23 \times 56 = 1288 \\ \hline 1828 \end{array} \quad (\text{合計})$$

$$\begin{array}{r} 45 \times 78 = 3510 \\ -) 14 \times 23 = 322 \\ \hline (3188) \end{array} \quad (\text{中間計})$$

$$\begin{array}{r} 4984 \times 1 = 4984 \\ \hline 8172 \end{array} \quad (\text{合計})$$

$$10000 \quad (\text{総合計})$$

CA

12 ☒45 ☒23 ☒56 ☒☒45 ☒78 ☒14 ☒23 ☒

-

-

☒4984 ☒☒☒

• • 0 • • CA

12 • ×

45 • =

540 • +

23 • ×

56 • =

1,288 • +

1,828 • *

45 • ×

78 • =

3,510 • +

14 • ×

23 • =

322 • +

3,188 • ◇

4,984 • +

8,172 • *

10,000 • G*

0.

12.

540.

23.

1'288.

1'828.

45.

3'510.

14.

-322.

3'188.

8'172.

8'172.

10'000.

伝票番号1

商品	金額
A	480円
B	520
合計	1,000円

CA

480 $\boxed{+}$ 520 $\boxed{+}$ $\boxed{*}$

伝票番号2

数量	単価	金額
24	32円	768円
21	45	945
合計		1,713円

金額合計：2,713円

24 $\boxed{\times}$ 32 $\boxed{+}$ 21 $\boxed{\times}$ 45 $\boxed{+}$ $\boxed{*}$ $\boxed{G*}$

••0••CA

0.

480 • +

480.

520 • +

1'000.

1,000 • *

1'000.

24 • *

24.

32 • =

768 • +

768.

21 • *

21.

45 • =

945 • +

945.

1,713 • *

1'713.

2,713 • G*

2'713.

2-4 定数計算(同じ数を使った乗除算)

- $\boxed{\times}$ または $\boxed{\div}$ キーを続けて2回押すと、表示窓の最上桁に "K" が点灯し、表示の数値が定数としてセットされます。
- 一度定数をセットすると、あとは、《数値 $\boxed{=}$ ($\boxed{+}$, $\boxed{-}$, $\boxed{M+}$, $\boxed{M-}$, $\boxed{\%}$)》で答えが求められます。
- 定数の変更や解除は、新たな操作をするか、 \boxed{CA} キーを押してください。

$$\begin{aligned} & (K) \\ & 28.35 \times 36 = 1020.6 \\ & 28.35 \times 25.4 = 720.09 \end{aligned}$$

28 $\boxed{\div}$ 35 $\boxed{\times}$ $\boxed{\times}$ 36 $\boxed{=}$ 25 $\boxed{\div}$ 4 $\boxed{=}$

28 • 35 ×

28.35

28 • 35 K ×

K

28.35

36 • ×

28 • 35 =

1,020 • 6

K

1'020.6

25 • 4 ×

28 • 35 =

720 • 09

K

720.09

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：2

$$\begin{aligned} & \text{(K)} \\ & 365200 \div 275 = 1328 \\ & 78542 \div 275 = 285.607272... \end{aligned}$$

$$275 \div$$

$$\div$$

$$365200 \div$$

$$78542 \div$$

275 • ÷	
275 • K ÷	κ
365 • 200 • ÷	
275 • =	
1 • 328 • 00	κ
78 • 542 • ÷	
275 • =	
285 • 61	κ

$$275.$$

$$275.$$

$$1328.00$$

$$285.61$$

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：6

$$\begin{aligned} 1.23^2 &= 1.5129 \\ 1.23^3 &= 1.860867 \end{aligned}$$

$$1 \div 23 \times$$

$$\times$$

$$\div$$

$$\div$$

1 • 23 ×	
1 • 23 K ×	κ
1 • 23 ×	
1 • 23 =	
1 • 512900	κ
1 • 5129 ×	
1 • 23 =	
1 • 860867	κ

$$1.23$$

$$1.23$$

$$1.512900$$

$$1.860867$$

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：CUT、

$$\frac{1}{4} = 0.25$$

小数位セクター：2

$$4 \div$$

$$\div$$

$$1 \div$$

$$\div$$

4 • ÷	
4 • K ÷	κ
1 • ÷	
4 • =	
0 • 25	κ
0 • 25 ÷	
4 • =	
0 • 0625	κ

$$4.$$

$$4.$$

$$0.25$$

$$0.0625$$

$$\frac{1}{4^2} = 0.0625$$

小数位セクター：4

2-5 独立メモリーを使う計算

- 独立メモリーは合計メモリーとは異なったエリアを使うメモリーです。**CA**を押しても、独立メモリーの内容はクリアされません。
- 独立メモリー内に数値が記憶されているときは、表示窓に"M"が点灯します。
なお、桁オーバーになっても直前に記憶した独立メモリーの内容は保護されています。
- 独立メモリー計算は**MX**を押して、独立メモリーの内容をクリアしてから始めてください。

MX 数値入力 **X** (**÷**) 数値入力 **M+** (**M-**) 積(商)を算出し、算出値を自動的にメモリーに加算(減算)します。
 数値入力 **X** (**÷**) 数値入力 **M+** (**M-**) 積(商)を算出し、算出値を自動的にメモリーに加算(減算)します。
MV メモリーに累計された合計値をクリアせずに呼び出します。
 → メモリーに累計された合計値を呼び出すと同時に、メモリーをクリアします。

例 1 合計計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$20 \times 30 = 600$	MX	0 • M*	0.
$50 \times 60 = 3,000$			
$\rightarrow 40 \times 50 = 2,000$	CA	• • 0 • • CA	0.
1,600 (合計)			
20×30 M+		20 • × 30 • = 600 • M+	M 600.
50×60 M+		50 • × 60 • = 3,000 • M+	M 3'000.
40×50 M-		40 • × 50 • = 2,000 • M-	M 2'000.
	MV	1,600 • M◇	M 1'600.

例 2 定数計算

機能セクター：ON、ラウンドセクター：F

$4 \times 12 = 48$	MX CA 12 X X 4 M+	M	48.
$\rightarrow 5 \times 12 = 60$	5 M-	K	60.
$6 \times 12 = 72$	6 M+	K	72.
60 (合計)	MV	K	60.

2-6 パーセント計算

- a**×**b**%** で割合が、それに続いて **+** または **=** を押せば割増あるいは割引が求められます。
- a**÷**b**%** で比率が、それに続いて **=** を押せば増減比率(変化率)が求められます。
- **%** キーで求められた数値は *****(合計)に加算され、累計を求めることができます。また、パーセントの定数計算をすることができます。
- a**×**b**⌘** で売価設定が、a**÷**b**⌘** で原価設定が求められます。

例 1 割合、割増／割引計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

1,500円の26%は？

CA	• • 0 • • CA	0.
1500 ×	1,500 • ×	1'500.
26 %	26 • %	
	390 • +	390.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

3,620円の15%増しは？

CA	• • 0 • • CA	0.
3620 ×	3,620 • ×	3'620.
15 %	15 • %	
	543 • +	543.
+	4,163 • +%	4'163.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

4,750円の4%引きは？

CA	• • 0 • • CA	0.
4750 ×	4,750 • ×	4'750.
4 %	4 • %	
	190 • +	190.
=	4,560 • -%	4'560.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：4

456個は1,230個の何%か？

CA	• • 0 • • CA	0.
456 ÷	456 • ÷	456.
1230 %	1,230 • %	
	37.0732 • +	37.0732

例2 増減比率の計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

141万円は120万円の
何パーセントアップか？

CA	••0••CA	0.
141 ÷	141 • ÷	141.
120 %	120 • %	
	117.5 +	117.5
=	21 • Δ	
	17.5 Δ%	17.5

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

240円は300円の何%引きか？

CA	••0••CA	0.
240 ÷	240 • ÷	240.
300 %	300 • %	
	80 • +	80.
=	- 60 • Δ	
	- 20 • Δ%	-20.

以下は、定数を使った計算例です。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：2

1590の6%は？
3698の6%は？

CA	••0••CA	0.
6 X	6 • ×	6.
X	6 • K ×	6.
1590 %	1,590 • ×	
	6 • %	
	95.40 +	95.40
3698 %	3,698 • ×	
	6 • %	
	221.88 +	221.88

例3 売価設定（マークアップ）および原価設定（マークダウン）の計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

売価設定（マークアップ）
仕入れ価格480円の
商品に40%の利益率を
設定する場合の売価と
利益は？

480
40

480・×
40・M%
320・-%
800・MU

320・-%

480.

(売価) 800.

(利益) 320.



(続けて押す)

原価設定(マークダウン)
売価130円で、利益を
原価の4%とすると、
原価と利益は？

130
4

130・÷
4・M%
5・-%
125・MD

5・-%

130.

(原価) 125.

(利益) 5.



(続けて押す)

2-7 実務計算

例1 百分比計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：3

部門	売上金額	構成比
A	47,500円	26.809%
B	129,680	73.191
合計	177,180円	100.000%

・・0・・CA

0.

47500
129680

47,500・000 + 47'500.000
129,680・000 + 177'180.000
177,180・000 * 177'180.000

177,180・÷
177,180・K÷ 177'180.

47500

47,500・÷
177,180・%
26,809 + 26.809

129680

129,680・÷
177,180・%
73,191 + 73.191

例 2 伝票計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：CUT、小数位セクター：0

部門	人数	箱数	単価	金額
A	12	7	450	37,800
B	—	23	630	14,490
合計				52,290
手数料3%				1,568
運賃				1,800
合計請求額				55,658

<input type="checkbox"/> CA	••0••CA	0.
12 <input checked="" type="checkbox"/>	12 • ×	
7 <input checked="" type="checkbox"/>	7 • ×	
450 <input type="checkbox"/>	450 • =	
	37,800 • +	37'800.
23 <input checked="" type="checkbox"/>	23 • ×	
630 <input type="checkbox"/>	630 • =	
	14,490 • +	14'490.
<input type="checkbox"/> %	52,290 • ◇	52'290.
<input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> %	52,290 • ×	
	3 • %	
	1,568 • +	1'568.
1800 <input type="checkbox"/>	1,800 • +	55'658.
<input checked="" type="checkbox"/>	55,658 • *	55'658.

例3 集計計算

機能セレクトター：ITEM+、ラウンドセレクトター：F

支社	地区	金額(万円)
東日本支社	A	3,698
	B	3,456
	地区合計	7,154
西日本支社	C	2,478
	地区合計	2,478
支社合計		9,632

支社	地区	金額(万円)
東日本支社	D	2,345
	E	2,589
	地区合計	4,934
西日本支社	F	2,468
	地区合計	2,468
支社合計		7,402

全国合計		17,034
------	--	--------

000			
		0・M*	0.
		••0••CA	
3698+		3,698・+	
3456+		3,456・+	
*	002	7,154・*	7'154.
2478+		2,478・+	
*	001	2,478・*	2'478.
	002	9,632・G*	9'632.
		9,632・M+	
2345+		2,345・+	
2589+		2,589・+	
*	002	4,934・*	4'934.
2468+		2,468・+	
*	001	2,468・*	2'468.
	002	7,402・G*	7'402.
		7,402・M+	
	002	17,034・M◇	17'034.

2-8 税金計算

■ 税率を設定する

例 税率を5%に設定する。

機能セクター：PRINT

CA	••0••CA	0.
SET <input checked="" type="checkbox"/> (数秒間押し続けます)	#.....R	0.
5 TAX	#.....5•%T	5.

■ 税計算の例

① 税込み計算

例 税抜き価格が1,500円の商品の税込み価格と税額を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：0

CA	••0••CA	0.
1500 TAX	1,500•-T	
	5•%T	
税額	75•T	
税込み価格	1,575•+T	1'575.

② 税抜き計算

例 税込み価格が1,050円の商品の税抜き価格と税額を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：5/4、小数位セクター：0

CA	••0••CA	0.
1050 TAX	1,050•+T	
	5•%T	
税額	50•T	
税抜き価格	1,000•-T	1'000.

2-9 原価・売価・利益計算

原価、売価、利益率が簡単に計算できます。

例 1 原価 1,000 円で売価 2,000 円の商品の利益率を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

CA	• • 0 • • CA	0.
1 000 COST	1,000 • C◇	1'000.
2 000 SELL	2,000 • S*	
	50 • M%	(利益率%) 50.

例 2 原価 120 円で利益率 40% の場合の利益金額と売価を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

CA	• • 0 • • CA	0.
120 COST	120 • C◇	120.
40 MAR	40 • M%	
	200 • S*	200.
MAR	40 • M%	
SELL	80 • MT	(利益金額) 80.
		(売価) 200.

例 3 売価 12,000 円で利益率 30% の場合の利益金額と原価を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

CA	• • 0 • • CA	0.
12 000 SELL	12,000 • S*	12'000.
30 MAR	30 • M%	
	8,400 • C◇	8'400.
MAR	30 • M%	
COST	3,600 • MT	(利益金額) 3'600.
		(原価) 8'400.

2-10 データプリント

計算とは関係なく、数値データを計算途中に挿入します。予め挿入データを設定してから、プリントしたい箇所で **DATA** キーを押してください。計算には影響を与えず、計算の間に数値データが印字されます。

■ 設定のしかた

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

挿入データを2011.08.17と設定する

CA

DATA (約3秒間押す)

2011 **08** **17** **DATA**

• • 0 • • C A

0.

0000

2011.08.17

■ 印字のしかた

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

(データを呼び出すには) **CA**
DATA

12 **+**

14 **+**

(データを印字するには) **DATA**

• • 0 • • C A

0.

2011.08.17

12 • +

12.

14 • +

26.

2011 • 08 • 17 D

2011.08.17

2-11 ノンアドプリント

日付や管理コード番号など、計算とは無関係な数字をプリントしたい場合は、数字を入力した直後に **%** キーを押してください。計算には影響を与えずに数字のみがプリントされます(プリントされる数字には"#"が付きます)。プリントした数値は印刷の区分けやプリントのヘッダーとしてお使いいただけます。

機能セクター：ON

日付：2011年8月17日
コード番号：10022

2011 **08** **17** **%**
10022 **%**

2011 • 08 • 17
10022

2'011.0817
10'022.

③ エラーと訂正

3-1 エラーチェック

計算機が以下のような状態になると、表示部の1行目に"E"を表示します(印字中は"E"を印字します)。また、同時に **CA** と **FEED** 以外のキーは動かなくなります。

1. 計算途中の数値または答えの整数部が14桁を超えたとき。このとき表示されている数値は、小数点を「100兆の位」とした概算の答えです。
 2. 独立メモリーに数値を記憶させた結果、数値の整数部が14桁を超えたとき。この場合、独立メモリー内には桁オーバーする前の数値が保護されています。
 3. $6 \div 0 \div$ のように、除数0の割り算をしたとき。
 4. 売価設定計算(マークアップ計算)の利益率を100%にしたとき。または、原価設定計算(マークダウン計算)の利益率を-100%にしたとき。
- エラー("E"表示)は、**CA** を押すことにより解除されます。
 - 置数のオーバーフローによるエラーは **C** または **▶** を押しても解除されます。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

12345678 × 10000000
=1234567800000000

12345678 **×**
1 **000 000 0** **÷**

(新たに計算を始めるには) **CA**

12,345,678. ×
10,000,000. =
1.2345678000000E
...0...CA

12'345'678.

1.2345678000000E
実際の答えは:
123456780000000.0.

■ オーバーフロー時のメモリー保持について

オーバーフローが起きた場合でも、独立メモリーに記憶されていた数値は保持されます。**CA** キーを押してエラーを解除した後であれば、**MR** キーで再度メモリーの数値を呼び出すことができます。

3-2 訂正

- 数字キーの押し間違い(置数ミス)
 - C** を押してください。表示が "0." になります。
 - ▶** を押してください。押すごとに表示数値の最小桁の数字が消えます。いずれの場合も、続けて置数し直してください。
- 置数ミスのまま計算命令キーを押してしまったとき
CA を押して、最初から計算をやり直してください。
- 計算命令キーの押し間違い
 - ×**・**÷** は、相互に押すことにより訂正することができます。後から押した計算命令キーに訂正されます。
 - +**・**-** は、同じ数値を加減算することにより訂正することができます。
- M+**・**M-** の押し間違い
 同じ数値を加減算することにより訂正することができます。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

456 × 78
= 35568

(入力ミス) 447

(訂正) **C**

456 **×**

(入力ミス) 789

(誤って入力した最後の桁'9'のみをカット) **▶**

=

4 5 6 • ×

7 8 • =
3 5 , 5 6 8 •

447.
0.
456.
789.
78.
35 568.

14 + 25 = 39

CA

• • 0 • • CA

0.

14 **+**

1 4 • +

14.

(入力ミス) 26 **=**

2 6 • -

-12.

(訂正) **+**

2 6 • +

14.

25 **+**

2 5 • +

39.

3 9 • *

39.

• • 0 • • CA

1 4 • +
2 6 • -
2 6 • +
2 5 • +
3 9 • *

$$14 + 25 = 39$$

CA	• • 0 • • CA	0.
14 +	14 • +	14.
26 =	26 • -	-12.
(入力ミス) *	12 • *	-12.
	-	
(訂正) =	12 • -	12.
*	12 • *	12.
14 +	14 • +	14.
25 +	25 • +	39.
*	39 • *	39.

4 仕様

計算機能：	加減乗除計算、定数乗除計算、割合・割増・割引・比率・変化率計算、売価設定・原価設定計算、税金計算、原価・売価・利益計算、リピート加減算、個々の積・商とその合計・総合計計算、加減算の中間計・合計・総合計計算およびアイテムカウント、四捨五入・切り上げ・切り捨て計算、アドモード計算、その他混合計算
計算桁数：	置数 14 桁、和差積商合計およびメモリーとも 14 桁、アイテムカウント 3 桁(－999～999)
メモリー(記憶)：	加減乗除の合計メモリー 1 組、総合計メモリー 1 組、独立メモリー 1 組
小数点方式：	上位桁優先の浮動(F)、指定(5/4、UP、CUT)および固定(ADD)方式
端数処理：	四捨五入・切り上げ・切り捨て(小数点以下 0、1、2、3、4、6 位の任意)
負数機能：	マイナス符号の表示および印字
エラーチェック方式：	"E" 記号の表示および"E" 記号の印字により演算停止
表示方式：	緑の蛍光表示 14 桁、ゼロサプレス方式、メモリーおよび定数計算中表示、整数部 3 桁区切り表示付き
印字方式：	パラレル方式による正負色別印字
印字桁数：	数値、小数点、3桁区切りシンボル合わせて 16 桁、計算記号 2 桁、最大印字数 18 桁
その他独自機能：	データ印字、ノンアド印字、バッファレジスター(14 キー分)、答え印字後スペース送り、プリント OFF 機能
ロールペーパー：	幅 57～58mm、外径 80mm 以内の普通紙
インクリボン：	印字色 赤・黒
使用温度：	0℃～40℃
電源：	AC100V ± 10V 50Hz / 60Hz
消費電力：	9.5 W
寸法・質量：	幅 214.5 × 奥行き 382 × 高さ 109.3mm、重さ 1.8kg
付属品：	インクリボン(本機に内蔵)、ロールペーパー 1 巻
消耗品：	ロールペーパー < RP-5860-TW > ・消耗品は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。